

指文字を使ってみよう!

市は令和2年3月23日に手話言語条例を制定しました。手話は言語であり、手話への理解と手話を使用しやすい環境を推進します。手話と親しむために身近なものから覚えて積極的に使ってみましょう。今回は指文字を紹介します。

アルファベットの(ア)	な	アルファベットの(イ)	た	アルファベットの(ウ)	さ	アルファベットの(エ)	か	アルファベットの(オ)	あ
カタカナの(ニ)	に	カタカナの(チ)	ち	手話の数詞の(七)	し	影絵の狐(きつね)	き	アルファベットの(イ)	い
「強」身ぶり	ぬ	カタカナの(ツ)	つ	カタカナの(ス)	す	手話の数詞の(九)	く	アルファベットの(ウ)	う
木の根の(ネ)	ね	手そのものを表す	て	「兄(せ)の敬慕の音」	せ	アルファベットの(ケ)	け	アルファベットの(エ)	え
カタカナの(ノ)	の	「貴方(あなた)私(わたし)の(ニ)」	と	「それ」指示の身ぶり	そ	カタカナ(コ)の(部)	こ	アルファベットの(オ)	お

横に移動する	「が」濁音	アルファベットの(ワ)	わ	アルファベットの(ラ)	ら	アルファベットの(ヤ)	や	アルファベットの(マ)	ま	アルファベットの(ハ)	は
上へ移動する	「ば」半濁音	アルファベットの(ヲ)	を	カタカナの(リ)	り			手話の数詞の(三)	み	手話の数詞の(一)	ひ
後へ引く	「っ」促音	カタカナの(ン)	ん	カタカナの(ル)	る	(濁気)を形築する	ゆ	手話の数詞の(六)	む	カタカナの(フ)	ふ
後へ引く	「ゃ」拗音			カタカナの(レ)	れ			(目)を形築する	め	カタカナの(ヘ)	へ
「」を空音する	「ー」長音			カタカナの(ロ)	ろ	手話の数詞の(四)	よ	手話の(同)を示す	も	(舟の帆)を形築する	ほ

※相手から見た形 ※イラストの左側にある説明文は学習上のヒントとしているもので、必ずしも語源を説明しているものではありません

(一財) 全日本ろうあ連盟発行『わたしたちの手話 学習辞典ⅠおよびⅡ』より転載
お問い合わせ 福祉介護課 障害福祉係 ☎ 0986-76-8807